

令和4年度 福祉のまちづくり研究所企画運営委員会 【追跡評価】

No.	研究課題名	コメント
1	車椅子使用者の坂路環境及び活動量の評価と、バリアに対応した車椅子機構に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす使用者の立場から、既存道路の状況改善につながることを期待されます。さらに現状改善に効果的な方向付けで発展されることを期待します。 ・バリア情報マップや経路探索への展開は高く評価できる。今後は、仮想空間での車椅子移動の事前体験システムや仮想空間車椅子トレーニング等への応用が期待される。 ・車椅子は坂道の上下りに相当の困難を伴うが、とりわけ下り坂については恐怖が強い。この下り坂の勾配と車椅子使用者の身体能力との関係を力学モデルとして、明確にした点は大きい。先進性・新規性がみられる。 ・この技術を用いた発展的な応用、用途開発を試みてほしい。